



高1

<p>ハイレベル英語(分詞)</p>	<p>最重要単元の一つ「分詞」をマスターする講座です。分詞の用法の基礎ができています方を対象に、その働きを形容詞的用法と副詞的用法(分詞構文)に分類し、演習を通じてハイレベルな問題を解く力を身につけます。さらに大学入試の英文を用い、読解の基礎となる構造分析と下線部和訳の技術を修練します。</p>
<p>スタンダードレベル英語(分詞)</p>	<p>最重要単元の一つ「分詞」をマスターするための講座です。その働きを整理し、演習を通じて基本的な問題が解けるようになることを目指します。さらに大学入試の英文を用い、読解の基礎となる構造分析と下線部和訳の技術を学びます。「英文読解の基礎とは何か」を身につけ英語への自信を深めてください。</p>
<p>英文読解テクニック</p>	<p>単語の意味を並べて何となく日本語に直すという読み方では、大学入試の難解で抽象的な文章は読めません。英文法の知識に基づき正しく英文の意味を捉える方法「構造分析」を、基礎的な英文を用いて講義します。大学受験に向けた読解テクニックをマスターし、今後スムーズに読解が行える力を養成します。</p>
<p>英文法復習講座</p>	<p>高1で習う英文法はそのまま大学受験で通用するものです。本講座では特に入試頻出の重要単元に絞り、四択問題や整序英作文などの基礎から応用までを演習します。定期テストの結果が思わしくなかった生徒は、本講座で総復習を行ってください。</p>
<p>三角比H/S</p>	<p>cos, sin, tanの意味と性質を理解し、図形問題への応用法を学びます。初等幾何では扱いにくい問題が、これらの定理によって簡単な計算問題になってしまう様子を目の当たりにしていただきます。三角比の意味とイメージを大切にし、公式が成り立つ理由まで詳しく解説していきます。</p>
<p>整数論H/S</p>	<p>その理論の美しさから「数学の女王」とも言われる整数論の講座です。大学入試でも本格的な問題が多数出題され受験生を困らせる分野ですが、早いうちから慣れておくことで逆に得点源となります。整数の初歩からユークリッドの互除法、整数の合同式、フェルマーの小定理と進みます。</p>
<p>数学IA演習H/S</p>	<p>ハイレベル・スタンダードレベルともに数Iの「方程式・不等式」「2次関数」、数Aの「場合の数・確率」の4単元を徹底的にやり直す復習講座です。基礎から応用レベルまで幅広く問題を扱っていきます。この講座で今までの復習を行い、9月以降の準備を行ってください。</p>

高 2

<p>ハイレベル英語 総合演習</p>	<p>準動詞を含む京都大、大阪大等の英文を素材に構造分析、下線部和訳、マクロ的読解の技術、抽象度の高い重要語の概念理解に基づく高度な論理的思考力と、トップレベルの英文に対する読解力、翻訳力を養成します。また英作文、文法・整序問題も扱い、添削を通して自然な英文の書き方も指導します。</p>
<p>スタンダードレベル英語 総合演習</p>	<p>最重要単元である準動詞（不定詞・分詞・動名詞）を機能別に整理しながらマスターするための講座です。準動詞はお互い関連し合っている部分と、異なる部分があります。準動詞を含んだ複雑な入試英文を用いて、それらの働きを整理し、演習を行うことでハイレベルな問題にも対応できる実力を養成します。</p>
<p>ハイレベル入試数学頻出問題演習</p>	<p>京都大・大阪大レベルの問題は、発想力、論証力を試すものになっています。よって本講座では、このレベルの問題に対し、どのようなアプローチの仕方や解法があるか、解答はどのような構成で作成するか、などに重点をおいた解説を行い、未知の問題にも対応できる実力を育成します。</p>
<p>スタンダードレベル入試数学頻出問題演習</p>	<p>三角関数・確率・図形と式の頻出事項をマスターするための講座です。定義や公式といった基本事項を応用の利く形で整理していきますので、今まで「なんとなく」「何をやっているかわからないまま」問題を解いてきた方におすすめです。尚、授業はその場での理解を優先し演習→解説の形式で進めます。</p>
<p>複素数と複素数平面講義</p>	<p>「複素数と複素数平面」から、実数から複素数へ数を拡張する意味、平面の数としての複素数（複素数平面）、ベクトルと複素数の対応、および複素数の図形への応用（回転・拡大）といった重要項目を、基本から応用まで幅広く講義する講座です。さらに標準～応用レベルの演習により、実戦力も養成します。</p>
<p>ベクトルの攻略</p>	<p>「ベクトル」全範囲について総復習を行います。基本事項をどのように応用させれば問題が解け、同系統の問題に発展させることができるのか、その考え方、発想法に重点をおいて講義します。基本と問題の流れをつかめば沢山のパターンを覚えなくても簡単に問題が解けるということを実感してください。</p>
<p>受験の物理</p>	<p>「等速円運動」「単振動」は受験では最頻出で、受験の成否を左右する単元といっても過言ではありません。確かにイメージのつかみ方や理論のつながりの面で難しい所はありますが、的確に学べば理解できます。物理が受験に必要な方は、本講座を活用し、この最重要単元を最も得意な単元にしてください。</p>
<p>受験の化学</p>	<p>高2段階では未習部分である反応速度・化学平衡について、基礎から応用まで講義します。この単元は以降に学習する酸・塩基・酸化還元・気体・溶液などを理解する上で必要不可欠です。化学が将来受験で必要となる予定の理系の方は全員受講してください。</p>



高3

<p>ハイレベル総合英語 180分</p>	<p>英文読解では、高度な論理的思考法、専門用語や難語を含む英文の読解法など、あらゆる英文に対応できる「本物の読解力」を養成します。英作文では学校で学べない「書くための英文法」習得を大きな目標としながら、文法・語法の知識を体系化し「使える語彙」を増やすことで難問への対応力を養成します。</p>
<p>スタンダードレベル総合英語 180分</p>	<p>難関国公立大突破を目標に英文の構造分析と下線部和訳、パラグラフリーディングを学ぶ「英文読解」、徹底した演習で重要項目を整理、次に整序問題、空所補充、適語選択などの演習を重ね文法問題を攻略する「英文法」、添削指導で英語の論理に基づく自然な英文の書き方を学ぶ「英作文」の3部構成です。</p>
<p>整序英作文・口語表現の攻略</p>	<p>センター試験はもちろん、私立大入試でも整序英作文と口語表現に関わる問題が増えています。整序英作文は、「解くための手順」でどんな問題にも対応できます。口語表現は、独自の表現を含む各種の出題形式を経験することで得点源になります。これらを得点源にするためのポイントを指導する講座です。</p>
<p>高3ハイレベル理系数学演習 [数Ⅲ]</p>	<p>理系数学の入試問題で配点が高く、合否への影響力も大きい数学Ⅲ「微分法」「積分法」について、そのハイレベルな頻出重要問題を演習し、その解法を講義します。パターン演習ではなく、この分野における問題解決力と論理的思考力、確かな計算力、すなわち入試実戦力を養います。</p>
<p>スタンダードレベル理系数学演習 [数Ⅲ]</p>	<p>理系数学の入試問題で配点が高く、合否への影響力も大きい数学Ⅲ「微分法」「積分法」について、頻出で重要な問題を演習し、その解法を講義します。また、独特の計算にも対応できる学力を育成する、入試における得点力向上に直結する講座です。</p>
<p>ハイレベル入試数学演習 [数IAIB]</p>	<p>数学IAIBの全範囲について、京都大・大阪大レベルの問題演習および解説をする講座です。なぜそのような解法なら正解に結びつけられて、別の解法だと途中で解けなくなるかといった解法の見極め方、および初見の問題に対してどのようにアプローチをすれば正解に辿り着けるかを中心に解説します。</p>
<p>スタンダードレベル入試数学演習 [数IAIB]</p>	<p>数学IAIBの「確率」「数列」「ベクトル」といった入試頻出の重要単元について、入試問題演習を行い、基礎知識を確認して弱点補強をするとともに、定番の解法に関してなぜそのような解法なら正確に結びつくのかといった解法選択のポイントを解説します。</p>
<p>センター数学IAの攻略</p>	<p>センター試験の数学IAについて、過去の出題傾向を踏まえ、どう対応すると高得点が取れるかを最重点に、マークセンス方式という形式を活かした得点の仕方を中心に講義、演習します。高得点を取るために、面倒な計算を避けるための公式の活用法と流れを読み取る着眼点について詳しく解説します。</p>
<p>センター数学IIBの攻略</p>	<p>センター試験の数学IIBについて、その出題形式の問題演習と解説を行います。正確に計算する力、問題の流れを把握する力が要求されるセンター試験の数学ですが、計算を極力回避できるテクニックも少なくありません。そのための定理・公式の活用法や流れを把握する着眼点について詳しく解説します。</p>
<p>国公立大現代文解法テクニック</p>	<p>現代文は、解くためのテクニックをマスターすることによって飛躍的に点数が上がり、安定します。講義では文章の論理を構成する言葉や構造を把握し、文章に示されている意図を論理的に読み取れる方法はもちろん、記述問題解法の秘伝を伝授します。なお、授業内演習の解答はすべて添削します。</p>
<p>国公立大古文読解テクニック</p>	<p>古文読解の基礎となる単語力・文法力の育成に加えて、文の展開を論理的に類推しながら、全体の内容を把握する方法を講義します。また、センター試験や私立大入試の客観問題の解法に加え、難関私立大入試や国公立大2次試験で出題される論述型問題にも対応できる、解法のテクニックを指導します。</p>
<p>夏から間に合うセンター現代文</p>	<p>現代文は、解くためのテクニックをマスターすることによって飛躍的に点数が上がり、安定します。講義ではセンター試験の出題傾向を十分に踏まえた上で、過去問や予想問題を通して「センター特有のポイント」の見抜き方、効果的な文章の読み方や解答の選び方を基礎から講義します。</p>

<p>私立大古文読解テクニック</p>	<p>関関同立大や早稲田大、GMARCHを中心とする私立大入試の問題を扱うことで、出題形式を知るとともに、古文読解の基礎となる単語力と文法力を整理・強化していきます。また、それを基礎とした長文の読解方法(人物把握法など)や客観問題の選択肢の絞り込み方を指導します。</p>
<p>夏から間に合うセンター古文</p>	<p>センター試験の国語において、古文は漢文に次いで大事な得点源となる科目です。本講座ではセンター試験の古文に必要な文法・単語知識をマスターしていただいた上で、過去問や予想問題を通してマークセンス方式の正解の見分け方を指導します。</p>
<p>夏から間に合うセンター漢文</p>	<p>センター試験の漢文は国語の中で最も満点を狙いやすい科目ですが、そのためには基礎知識となる句法をマスターしておく必要があります。本講座では返読法から始め、受身・使役・否定・比較・疑問・反語・限定・累加などの重要句形の解説と演習を行います。訓読と解釈の基礎をマスターしてください。</p>
<p>受験の物理(交流と交流回路)</p>	<p>「交流」とは電磁誘導によって発生する電気の形態の一つで、一般家庭の電源として用いられています。本講座では、交流の発生原理を説明し、「交流回路」を解くための計算公式を導出し、問題演習によって、知識を定着させます。なお、本講座を受講するためには、直流回路と電磁誘導が学習済みであることが必要です。</p>
<p>物理分野別演習(力学・熱力学・波動・電気)</p>	<p>「力学」は物理の根本であり、故に入試必出です。「熱力学」は出題頻度が高い上に、得点に相当の差がつきません。「波動」と「電気」は現象的な面で難しく思いがちですが、基礎となる理論は単純明快です。本講座ではこれらの分野についてハイレベルな入試問題を用いた演習を行い、実戦力向上を図ります。</p>
<p>受験の化学</p>	<p>得点すべき問題を確実に得点する、これが合格への早道です。本講座は無駄な知識、無駄な演習を徹底的に排除し、皆さんの労力を小さく、効果を大きくするものです。夏期講習では理論化学の全範囲について、入試問題を用いて演習、解説を行いますので、標準レベルで総復習をしたい方におすすめです。</p>
<p>有機化学の攻略</p>	<p>有機化学は暗記項目が多く、後回しにされがちですが、大学入試必出の単元です。苦手な受験生も多い単元ですが、理解の仕方、覚えるコツさえつかめば、あっという間に得意科目にすることができます。この夏で有機化学を完成させましょう！</p>